

土地、無償の貸付土地面積は、1万9,488.97㎡で43カ所、61筆である。また、学校の総面積は51万5,718.0㎡、公営住宅は12万3,643.62㎡である。

問 広報かしはら9月号に市の土地売払い物件のお知らせがあった。今年6月に6筆のうち3筆を土地開発公社から買い戻し、今回の入札に至ったようだが、買い戻しをする際の経緯を聞きたい。だれが判断し決定するのか。買い取り価格などはどのように決定し、売り払い物件の最低入札価格はどのような価格設定方法で決定したのか。

答 販売用不動産の時価評価の考え方は、国の規定に基づき、土地を評価する基準が4つ定められている。本市では公示価格または基準価額の合理的な調整、もしくは固定資産税評価額の合理的な調整により算定した額のうち、低いほうの額、この算定額をもって最低価格として入札を行うに公募している。平成17年12月に市公有財産有効活用検討委員会を設置しており、この委員会にかけ公有地を処分することを決めている。

問 市有地の普通財産の土地利用計画は、貸し付けが目的か、それとも売り払いが目的か。また、土地を取得したのはいつごろか。7ヶ所聞くが、まず、旧八木中用地で近鉄百貨店の東側の以前榎原夢まつり会場であった場所について聞きたい。

答 一部文化会館の前の道路が外周用公衆用道路になっているが、それらを含め9,041.13㎡あり、この広場は昭和56年に取得した。文化会館前の正面に位置しており、これからも市民のコミュニティの場として利用したい。

問 旧曲川駐在所約180㎡の土地についてはどうか。

答 4筆あり、昭和39年に取得した。今は更地で、公有財産有効活用検討委員会に諮り有効な利活用を図りたい。

問 五井町市有地について、約1万6千㎡あるが、それと3年ほど前、公社で購入した東側の土地も含めて聞きたい。

答 市有地は2筆で昭和49年に取得した。公社の土地と合わすと2万㎡を超える。公有財産活用検討委員会で審議し

たが、具体的な活用には至っていない。八木駅南の1,100坪の活用が軌道に乗った後に活用を図りたい。また、この土地については今井町の整備事業との兼ね合いもあり、方向性を見いだし事業を考えた。

問 出合町の市有地約2,600平米については。

答 元市営住宅で、2,596.33㎡あり、昭和33年に取得した。周辺道路が狭く、土地に接する市道の整備が必要で、整備が終われば委員会で審議し、地元と協議を進め利活用を検討したい。

問 慈明寺町の市有地約1,000㎡については。

答 市営団地跡で、941.74㎡あり、昭和33年に取得した。里道整備を含め、今後は地元と協議をしながら利活用を検討したい。

問 旧金橋保育所用地約3,000㎡については。

答 昭和50年に取得し、2,940.00㎡ある。平成24年に保育所建物を撤去し、その後、用途廃止をし普通財産として財産契約課で管理している。この土地については、国交省が京奈和道の事業を進

める中で、本市としても歩道橋の計画のための確保ということもあり、検討委員会に諮り活用方法を決定したい。



五井町市有地

一般質問
宇佐美孝二
(第16期新人議員の会)

広域観光

問 広域観光について、周辺市町村とは、どのような連携をとっているか。

答 かしはらナビプラザにおいて、本市以外の中南和地域の観光パンフレットやポスターも取りそろえ、イベントスペースにおいても周辺各市町村の観光展示等を行って

る。事務レベルでは、中南和広域観光協議会を立ち上げ、連携、協働、広報、観光の展開についての枠組みや取り組みの検討をしている。昨年度は、ワーキンググループ等で研究会を立ち上げ、中南和地域全体のテーマ別の観光コースを設定し、観光見本市等でプレゼンを実施した。また、本年度は、本市が県の緊急雇用創出事業補助金の交付を受け、中南和全体を紹介するポスターやパンフレットの作成、観光情報のデータベースの構築、首都圏、中京圏での営業活動等の事業を進めている。さらに、難波の津から飛鳥京までの沿道10市町村と大阪府、奈良県と竹内街道・横大路敷設1400年事業に取り組んでいる。飛鳥ナンバーの導入についても、中南和のさらなる広域的な観光振興、地域振興を進めるための1つのツールとして周辺自治体にも働きかけながら、取り組んでいる。

問 飛鳥ナンバーについて、なぜ桜井市が余り前向きではないと思うか。

答 最初から飛鳥ありきというのではなく、様々な意見